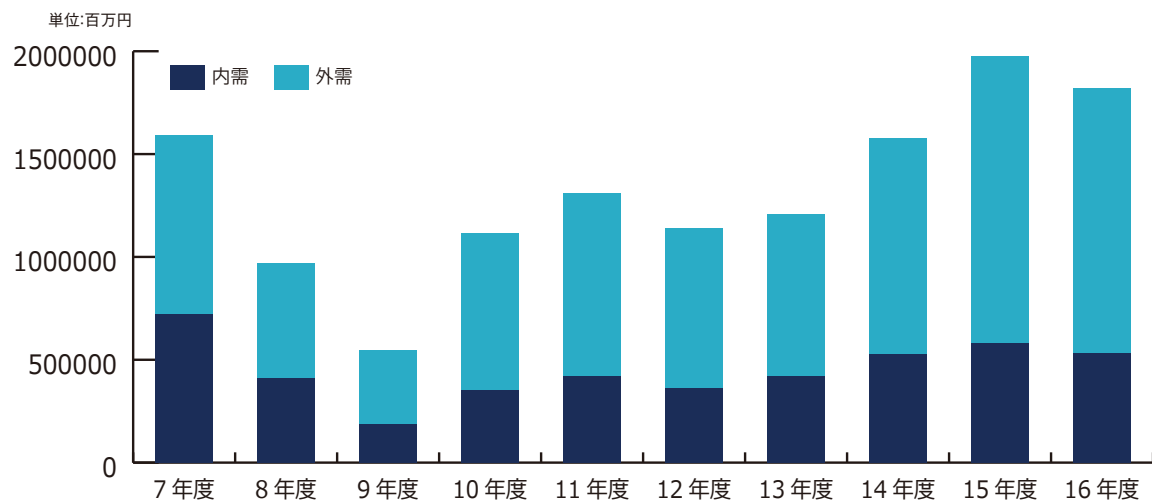


[2016年度] 工作機械受注額

単位:百万円

	2016年度	前年度比
受注総額	1,289,310	-7.8
内需	531,575	-8.2
外需	757,735	-7.6

■受注額の推移



出所:日本工作機械工業会

前年度割るも7年連続の1兆円超え

2016年度(16年4月～17年3月)の工作機械受注総額は、前年度比7.8%減の1兆2893億円となった。前年度を下回ったが、7年連続で1兆円を超えた。

内需は同8.2%減の5315億円。4年ぶりに減少した。政府の補助金政策の効果で年度上期は増加傾向がみられた。しかし、下期は次年度の補助金の採択待ちなどの影響でやや落ち込んだ。

外需は同7.6%減の7577億円。アジアでの電子機器関連の需要減少などで2年連続の前年度割れとなった。リーマン・ショック後の10年以降で最低額を記録した。一方、年度後半から年度末にかけて中国で電子機器関連のスポット受注などがあり、一部では回復の動きも見られた。全体に占める外需の比率は58.8%となった。